

宮崎県延岡・日向地区(延岡市)

重点プロジェクト(1)再造林の推進

地域内住民協働による森林管理と資源循環型林業推進の取組

管理が困難となった森林に対し、地域内住民協働による森林管理を確立し、資源循環型林業を推進する

現状と課題

過疎化や高齢化、不在村森林所有者の増加等により、管理が行き届かなくなった森林の増加が当地域での重要な課題となっている。

資源循環型林業を推進するためには、確かな施業技術を持った地域内の担い手が不可欠であることから、集落の地域住民による森林管理体制の確立について取組を行う必要がある。

取組概要

延岡市北方町早上地域において、地域住民が管理の行き届かなくなった森林の増加などの問題について話し合う場を設定した。今後の地域における適正な森林管理のためには地域住民による森林の共同施業・協働管理が重要であるとの結論となったことから、地域住民で地域の森林を守る「早上フォレストサービス」を結成した(写真1)。

今後の森林管理における先進的な取り組みとして本市では、講習会の開催や機械購入、森林整備等において各種補助などによる支援を行った。

取組の成果・効果

素材生産や苗木生産分野の講師を招いてメンバーに対する研修会を開催し、(写真2、3)、素材生産技術や苗木生産技術の向上を図ることができた。メンバー間でも苗木生産技術の研鑽を重ね、県の種苗生産者登録を行ったことで、地域内でスギコンテナ苗を生産することが可能となり、荒廃山林での伐採・再造林も実施した。

本取組により、地域の森林所有者に代わり、適正な森林管理を行う森林の守り手となり、地域内での循環型林業を確立する体制を構築することができた。

取組が進んだ要因

地域住民同士の話し合いの場を設定することで、課題について共通認識を持つことができ、地域の方向性を決定することができた。

また、研修内容については、地域住民との話し合いや情報収集を行い、研修プログラムの組み立てを行った。

これから取組む地域へのアドバイス

過疎化や高齢化、不在村森林所有者の増加等による管理の行き届かない森林の増加は他地域でも共通の課題であり、この取組は課題解決の参考になるものとする。また、モデル事業の期間のみの取組ではなく、終了後も継続的に取組むことが重要であるため、終了後も視野に入れた取組が必要であるとする。



図1



写真1



写真2



写真3

【担当】

延岡市林務課林業振興係 久保田匠眸

【連絡先】

メール:kubota.narumu@city.nobeoka.lg.jp

電話:0982-22-7019